

○水生生物モニタリング調査結果一覧（宇多川C）

<宇多川C 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点	○	○	○	○	○	○
C-6	○	○	○	○	○	○

<宇多川C 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻(水)	時刻(泥)		水温(℃)	泥温(℃)	性状	色相	混入物	全水深(m)
調査地点	37.7764°	140.8877°	R1.8.29	11:00	11:08	22.0	22.3	砂	2.5Y4/2	なし	0.29	>50
C-6	37.7764°	140.8877°	R1.8.29	11:00	11:08	22.0	22.3	砂	2.5Y4/2	なし	0.29	>50

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点	37.7764°	140.8877°	R1.8.29	11:00	7.6	<0.5	2.9	9.0	11.4	0.06	1.3	3	1.9	N.D. (0.0015)	0.0075	0.00089
C-6	37.7764°	140.8877°	R1.8.29	11:00	7.6	<0.5	2.9	9.0	11.4	0.06	1.3	3	1.9	N.D. (0.0015)	0.0075	0.00089

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
調査地点	37.7764°	140.8877°	R1.8.29	11:08	7.7	367	19.9	1.5	2.1	2.697	14.1	25.3	55.4	3.7	1.5	0.71	9.5	9.3	130	0.76	
C-6	37.7764°	140.8877°	R1.8.29	11:08	7.7	367	19.9	1.5	2.1	2.697	14.1	25.3	55.4	3.7	1.5	0.71	9.5	9.3	130	0.76	

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
C-6	宇多川本流	37.7764°	140.8877°	R1.8.29	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物(藻類を含む)	—	0.0093	—	—	—	60	N.D. (8.8)	60	—	
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	60	0.0093	幼虫	—	—	—	12	N.D. (4.6)	12	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	88	0.013	幼虫(ヤゴ)	—	—	2.7	N.D. (2.9)	2.7	—	
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトボ	<i>Davidius</i> sp.	ダビドサナエ属										
				節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ											
				節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	48	0.019	幼虫	—	—	3.9	N.D. (2.2)	3.9	—		
				R1.8.20	節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	10	0.13	未成体/成体	—	—	7.0	N.D. (0.55)	7.0	—	
				節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	82	0.046	未成体/成体	—	—	3.8	N.D. (1.4)	3.8	—		
				R1.8.29	節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	305	0.043	未成体/成体	—	—	8.1	N.D. (0.92)	8.1	—	
				節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	6	0.14	未成体	—	—	8.8	N.D. (0.73)	8.8	—		
				R1.8.20	脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	3	0.97	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	25.7	1.7	24	0.062	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	20	0.15	未成魚	—	—	5.70	0.40	5.3	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	27	0.28	未成魚/成魚	—	—	4.2	N.D. (0.44)	4.2	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.042	成魚	—	—	3.9	N.D. (1.4)	3.9	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	タモロコ	40	0.10	未成魚/成魚	—	—	1.9	N.D. (0.70)	1.9	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Cobitis biwae</i>	シマドジョウ	8	0.025	未成魚/成魚	—	—	5.3	N.D. (2.3)	5.3	—	
					脊椎動物	硬骨魚	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	81	1.8	未成魚/成魚	—	—	15.94	0.94	15	0.15	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	79	0.31	未成魚	—	—	6.44	0.34	6.1	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	50	0.15	成魚	—	—	5.0	N.D. (0.44)	5.0	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ										
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius</i> sp.	ヨシノボリ属										
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ	5	0.054	成魚	—	—	6.5	N.D. (0.99)	6.5	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ギギ	<i>Tachysurus tokiensis</i>	ギバチ	4	0.045	未成魚/成魚	—	—	2.0	N.D. (1.3)	2.0	—	
					R1.8.29	脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana japonica</i>	ニホンアマガエル	5	0.025	成体	—	—	20	N.D. (2.2)	20	—
				粗粒状有機物	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.22	—	—	—	4.1	N.D. (0.43)	4.1	—	

※1: 生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2: 水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3: 複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4: 生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5: プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6: 河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7: N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。